

原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合（第861回）
中国電力株式会社に関する指摘内容

令和2年5月19日
原子力規制庁
新基準適合性審査チーム

【有効性評価（保管アクセス）】

- 液状化による不等沈下に関し、地山と埋戻部との境界部（地山に勾配を設けて掘削した箇所）について、傾斜の評価結果を詳細に説明すること。また、段差解消工事の要否についてもその根拠とともに説明すること。
- 地中埋設構造物の液状化に伴う浮き上がりの評価結果について、浮き上がりを防止するための対策及び設計方法を詳細に説明すること。
- 海岸付近のアクセスルートにおける側方流動の評価結果について、他の検討断面や縦断方向の段差により通行に支障が生じることはないか説明すること。また、想定を上回る沈下が発生し、通行に支障が生じる場合の対応策についても説明すること。
- 液状化による側方流動の評価について、海岸付近のアクセスルートにおける被害の不確定性を考慮した評価の考え方を説明すること。
- 敷地内の鉄塔について、耐震評価の流れや考え方を詳細に説明すること。その際、各鉄塔の種別、系統、構造形状、地盤構造、支持地盤の概要を示した上で、どのような損傷モードを考え評価しているかを説明すること。

【有効性評価（保管アクセス）コメント回答】

- 泡消火薬材容器について、保管場所の変更により土石流の影響を受けない第4保管エリアに保管する数の妥当性について整理して説明すること。
- SA手順として新たに整備したディーゼル燃料貯蔵タンクからの燃料補給手順の方がより所用時間がかかることを踏まえ、この手順で有効性評価を行うこと。
- 海を水源とした場合の注水について、所要時間を短縮する取組について実績を含めて説明すること。
- 土石流が発生していない場合であっても、例えば雨量が多い場合には人的被害を予防するために土石流の影響を受けるアクセスルート、保管場所、輪谷貯水槽の使用を中止することが考えられるため、その場合の判断基準を説明すること。

以上